

一般社団法人日本鉱物科学会
2019年度第1回定例理事会 議事録

- 【1】招集通知年月日：2019年9月4日(水)
- 【2】開催年月日及び時刻：2019年9月21日(土)
16時30分～18時00分
- 【3】開催場所：九州大学伊都キャンパスA-117(イースト1号館)
〒819-0395 福岡市西区元岡744
- 【4】理事総数および定足数：総数 22名 定足数 12名
- 【5】出席理事数：21名
榎並正樹, 宮脇律郎, 安東淳一, 阿部なつ江, 井上 徹,
大藤弘明, 大和田正明, 鍵 裕之 (ZOOM), 川本竜彦,
河上哲生, 黒澤正紀, 辻森 樹, 土屋範芳, 富岡尚敬,
永井隆哉, 永島真理子, 長瀬敏郎, 伴 雅雄 (ZOOM),
森下知晃, 込本尚義, 吉朝 朗
- 【6】欠席理事数：1名 中村美千彦
- 【7】出席監事：平島崇男
- 【8】オブザーバー：(幹事, 各委員長, 報告者)

出席：栗林貴弘 会計幹事
磯部博志 行事幹事
興野 純 Elements幹事
佐藤 努 特務幹事
門馬綱一 JpGU2020プログラム委員
坂野靖行 博物館委員会委員長
大谷栄治 IMA小委員会委員長

欠席：林信太郎 教育普及委員会委員長

【9】議事概要

定足数12名を超える21名の理事が出席し,定款30条により理事会が成立したことを確認した。

榎並会長が議長に選出された後,榎並議長は一部参加者がWEB会議システム(ZOOM Meeting)を利用することから,WEB会議システムの通信状況,出席者全員の音声と映像が即時に伝わり,適時的確な意見表明が互いにできる状況に問題がないことを確認し,2019年度第1回定例理事会を開始した。

まず初めに,会議に先立ち,榎並会長より書記として坂野靖行会員が推薦され,満場一致で承認された。

I. 報告事項

会長・副会長の職務執行報告 (榎並会長, 宮脇副会長)

各業務は各担当者に一任していることから,会長,副会長から個別の報告は特にないので,以下の順に沿って,各担当者から報告を行った。

1. 各幹事,委員会,研究部会報告

(1) 第1回定例理事会前に開催した委員会報告

将来企画委員会報告 (宮脇委員長・副会長)

宮脇将来企画委員会委員長により,2019年9月19日(木)15:00～16:00に九州大学伊都キャンパスイースト1号館B-101に於いて

開催された,第23回2019年将来企画委員会の内容について報告がなされた。

(1) 会計問題WG委員会報告:会計問題WG井上委員長からの当委員会への答申とその審議内容について報告がなされた。

<会費の値上げ>・財政状況から値上げを検討する必要性は認められるが,まずは,収入,支出に関わる学会の事業を総合的に見直し検討するべきである。<冊子体購読費>・冊子体にかかる経費を精査し,冊子体購読希望の会員には受益者負担を基本として,学会の財政を圧迫しないように値上げを検討するべきである。<ページチャージ>・費用の現状を精査し,受益者負担とした場合の実費を見積もる必要がある。・カラー印刷のあり方(電子版のみのカラー化対応,カラー冊子体希望者への対応)とカラーチャージについて再検討を要する。・学会誌経費の財源について,会員負担(年会費・購読費)と著者負担(ページチャージ・カラーチャージ)の比率を英文誌,和文誌それぞれで精査するべきである。<GKK>刊行ベースの見直し(年4回から年2回へ,あるいは電子版の随時配信と冊子体の廃止など)で経費抑制を検討すべきとGKK委員会へ勧告する。<会員制度の見直し>継続審議。学生会員(包括料金,一般会員への移行時の割引制度の導入など),シニア会員(永年会員制度の整備),マニア会員<会費に代わる財源の模索>継続審議。クラウドファンディングについても可能性を模索。<事業仕分>・現状支出の見直し,削減可能性の模索に加え,今後の事務局の体制,運営,サービス内容についても検討を開始すべき。3年を目途に内容を検討していく。

なお,大藤理事から,年会での収益を上げる方向性を考えることについての提案があった。

(2)「普及講演会」と「科研費説明会」の準備・開催の運営方法(行事委員会,LOC,その他の分担)については審議事項第7号議案で審議する。

GKK編集委員会報告 (長瀬委員長・理事)

長瀬和文誌幹事により,2019年9月20日(金)12:00～12:30に九州大学伊都キャンパスイースト1号館A-117に於いて開催された2019年GKK編集委員会の内容について報告がなされた。

(1) 編集状況報告:

発行状況:48巻3号(10月初め発行予定):原著論文1編,資料1編,フィールド紹介1編,追悼文,新刊紹介3編他予定。現在査読中論文:0編。2019年8月29日現在まで,岩石鉱物科学47巻3号,4号,48巻1号,2号の合計4号が発行された。掲載件数総数は原著論文2件38p,資料・解説9件71p,訂正1p,新刊紹介3件2.5p,ニュース(他学会案内,公募等)0.5p,投稿規定9p,学会記事(理事会・総会議事録)51pその他の記事2p,追悼文1p,総目次3p,広告4件4p,白頁3p,4号分合計頁186p,1号平均頁46.5p。

(2) 審議事項:

定年により以下の委員が編集委員を退任し承認された。

牧野州明, 藤縄明彦, 西戸裕嗣, 木村純一

将来企画委員会からの答申,GKKの見直し等について審議がなされ,今後委員長が意見収集することとなった。

また,電子ジャーナルの認証制公開を変更してオープンアクセス化すること,発行回数,発行部数,ページチャージの値上げの検討,冊子をやめ完全電子ジャーナル化する案などの意見があった。

JMPS編集委員会報告 (吉朝委員長)

吉朝英文誌幹事により,2019年9月20日(金)13:00～13:30に九州大学伊都キャンパスイースト1号館A-117に於いて開催された2019年第2回JMPS編集委員会の内容について報告がなされた。

<報告事項>

1. JMPS現状報告:1) 投稿数状況:5月26日以降 原著論文7編(ロシア1編,中国1編,Letter 9編(2019pGU大会講演Letter募集:申込12件中投稿7編)(インド5編)2) 編集状況:早期公開中0編,

受理論文4編,査読中:17編 返却中:11編,3) 発行状況:114巻3号(6月号 7月11日公開,114巻4号(8月号)原著論文5編,Letter 1編9月末WEB公開予定,114巻5号(10月号)受理論文4編印刷準備中特集号投稿5編。4) 2018 JMPS Impact Factor: 1.472 (2017⇒1.030,2016⇒0.409)であった。IFをアップしてアカデミックな発信中心の場としたいとの意見があった。

- 2019年年会発表講演論文募集のお知らせ。投稿申込締切2019年10月15日(火) 締切日厳守,原稿提出締切日:2019年11月25日(月) 締切日厳守
- 特集号企画状況報告: The tentative title: Tracking plate tectonics and related events in the Indian continent from Archean to recent times. Guest editors: Kaushik Das, Junichi Ando, Toru Inoue

< 審議事項 >

- 副委員長推薦は継続審議となった。
- 学生論文賞対象範囲のまとめ確認
2019年5月25日のJMPS編集委員会において審査対象論文条件の「学生会員であること」に変更はないが,WEB投稿上の「学生論文賞審査にエントリー」する項目チェック欄を削除することとなった。このエントリー項目削除を受け,2018年度に限り,過去に遡り,エントリーしていない学生会員論文も審査対象とする意見があった。その結果,2018年審査対象論文数は11編になり前年度の4編から大幅に増加することとなった。
- ページチャージ30%割引見直しの件では,会員と非会員とのページチャージ料金を分ける案等があり,継続審議となった。
- 共著者多数の引用文献記載の件
著者から,引用すべき文献の著者が22人いる場合すべて列記するとかなり行数を必要とするので,このように極端に共著者が多い引用文献の記載の場合,「その他何人」というように記載できないかJMPSで検討してほしいと要望があり,審議の後,5名を超える著者名は省略して記載することが承認された。今後はSatish副委員長の指示の元,英文案を作成することとなった。

IMA小委員会報告(大谷委員長)

大谷IMA小委員会委員長により,2019年9月19日(木)16:00~17:00に九州大学伊都キャンパスイースト1号館B-101に於いて開催されて2019年第2回IMA小委員会の内容が報告された。

- 議事録(2019/05/23)の承認
- IMA関係ビジネス報告・Councilのメンバーとして,大藤教授(GRC)を推薦した。SecretaryのHans- Peter Scherflに連絡: 欠員次第・IMAビジネス会合 EMC (Europe Mineral. Conf.), Cracow Poland 2020: <https://emc2020.ptmin.eu> Sept. 6-10, 2020 ・次回のIMAの総会: Lyon France, 2022: IMA
- 小委員会関連の報告: 各コミッションからの報告 CGM: CGMのメンバーの交代: 宮田博士から阿依 アヒマデイ博士への変更をCGMの委員長に連絡し,承諾を得た。NMNC: CNMNC(新鉱物命名・分類コミッション): 宮脇律郎博士がコミッションチェアマンになった。門馬綱一博士が新たに日本を代表するコミッションメンバーに加わった。CM: M&M9 conferenceはBulgaria, Sofiaで2020/ 7/5-7に開催されるCPM: EMC2020においてCPM (Comm. Phys. Minerals)-IMAのセッションを提案し受理された: Session title: Mineral physics and planetology: A Journey across the universe. Convenors: P. Comodi (Italy), C. McCammon (Germany), E. Ohtani (Japan)
- 学術会議報告(1)大型研究計画の評価: マスタープラン2020の策定に向けて: 5月の連合大会のユニオンセッションにおいて,①Public評価,同時に②学術会議の科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会の下地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会にて審査(11名の委員)6月17日に順位付けを行った。順位: 1) ミュオグラフィ, 2) 広域観測(リアルタイム観測), 3)革新的質量分析技術開発, 4) 戦略的火星探査, 5) 極域科学, 6) CASESAR(彗星アストロバイオロジー探査サンプルリターン)今後,科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会において,全分野からプレゼン課題を選定,プレゼンと評価を実施

の予定。これ以外の分科会報告について西山会員から補足があった(人材育成分科会など)(2)夢ロードマップの公開をした。5. 鉱物科学における人材育成: 鉱物科学を普及するために,多くの日本鉱物科学会会員が編集・執筆に関わった「鉱物・宝石の科学事典」を刊行した。 <http://www.asakura.co.jp/books/isbn/978-4-254-16276-9/> ・我が国の学会におけるジェンダーバランスについて議論があった。海外の学会Geochem. Soc., AGUなど)では,女性の執行部が普通になっている。日本の女性研究者の学会活動への参加や代議員に占める割合について意見があった。

(2) その他委員会,幹事報告:(報告がある場合のみ)

会員報告(河上会員幹事・理事)

河上会員幹事により,以下のような報告がなされた。2019年8月29日現在の会員数総数は880名(内訳一般会員565名,シニア会員175名,学生会員90名,永年会員36名,名誉会員14名)で2018年9月20日の定時総会後より16名減少となった。また,2年未納会費の8名の会員について関係理事に催促の対応を依頼した。

会計報告(栗林会計幹事)

栗林会計幹事により,法人税77,700円を納税したことが報告された。

会員増対策特務幹事報告(佐藤努会員増特務幹事)

佐藤会員増対策特務幹事から,以下のような報告がなされた。2019年7月23日から8月28日まで実施した会員の意見など,情報収集のためのアンケートには,200人余りの会員から貴重なご意見をいただいたこと。今後は,企業(リクルート関係)の人を年会に来てもらう企画を立ち上げるという提案があり,承認された。

渉外報告(森下渉外幹事・理事)

特に報告はなし

庶務報告(中村庶務幹事・理事 代理榎並会長)

榎並会長により,下記各委員会交代委員選出選挙(会長・副会長選考委員会含む)実施の件について,お知らせと投票協力依頼があった。

日本鉱物科学会賞選考委員会(構成委員11名のうち,1名は会長) 渡邊萬次郎賞選考委員会(構成委員8名(内2名は理事) 半数交代) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

(構成委員10名(内2名は理事) 半数交代)

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

(構成委員10名(内2名は理事) 半数交代)

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

(構成委員10名(うち2名は理事) 半数交代)

会長,副会長選考委員会

行事・年会報告(磯部行事幹事)

磯部行事幹事により,2020年年会開催状況と2021年年会開催地候補について報告がなされた。

広報報告(大藤広報幹事・理事)

大藤広報幹事により,本日9月21日に臨時の広報委員会を開催したことの以下の内容について報告がなされた。

イベントの検討,科博の資料 学会のプレスリリース,アウトリーチについて検討し,アウトリーチ用のSNSの立ち上げを検討。

Elements報告(興野Elements幹事報告代理:森下副委員長)

2018年度総会で報告したので、特に報告はなし

地惑連合報告(阿部JpGU連絡担当委員・理事)

阿部JpGU連絡担当委員により以下の報告がなされた。JpGU大会の国際化に伴いIAMS提案のセッションを英語で対応することへの依頼があった。共催の資源地質学会と検討して後日回答することとなった。

新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長)

特に報告はなし。

教育普及委員会報告(林信太郎委員長 代理長瀬委員・理事)

2018年度総会で報告したので、特に報告はなし

博物館委員会報告(坂野委員長)

2018年度総会で報告したので、特に報告はなし

(3) 研究部会報告

研究部会「岩石-水相互作用」(土屋代表・理事)

2018年度総会で報告したので、特に報告はなし

2. 2020年, 2021年年会開催の件(磯部行事幹事)

- (1) 土屋2020年LOC委員長により, 2020年開催地東北大学の開催準備状況の報告がなされた。
- (2) 磯部行事幹事により, 2021年開催地の候補地として, 広島大学, LOC委員長候補は井上徹会員を予定していることが報告された。これについては審議事項第9号議案で審議する。

II. 審議事項

第1号議案 庶務幹事の件(榎並会長)

榎並会長により, 中村美千彦庶務幹事が本業多忙のため庶務幹事を退任することになり, 後任に河上哲生理事を, 河上会員幹事の後任に阿部なつ江理事(JpGU連絡担当兼任)を指名する提案がなされ, 異議なく承認された。

第2号議案 新入会承認の件(河上会員幹事・理事)

河上会員幹事により学生会員1名(記載省略)の入会申込書が閲覧され, 異議なく入会が承認された。

第3号議案 各種委員会交代委員選出の件(榎並会長)

榎並会長により, 報告事項で報告した各委員会交代委員選出選挙(会長・副会長選考委員会含む)を10月以降に理事による選挙で選出することについて提案がなされ, 異議なく承認された

第4号議案 行事委員会委員(2020年LOC委員から)承認の件
(提案: 鍵理事, 説明: 磯部行事委員長)

磯部行事委員会委員長が東北大学LOC委員の岡本敦会員を行事委員会委員に指名することになり, 鍵(行事委員)理事により委員承認について提案がなされた。磯部行事委員長から説明があり, 異議なく岡本敦会員は行事委員として承認された。

理由:「新行事委員会のメンバーに少なくとも1名の地元運営委員を加える。」

第5号議案 選挙管理委員会委員の選出と承認(榎並会長)

榎並会長により, 2020年3月から開始する2019年度役員選挙実施スケジュール表の提示があり, 選挙管理委員会委員の選出について提案がなされた。審議の後, 前回に引き続き以下の3名を選挙管理委員として選出することが異議なく承認された。

2019年度役員選挙選挙管理委員会委員
大内智博, 坂巻竜也, 則竹史哉

第6号議案 日本鉱物科学会賞選考委員会に関する
ガイドラインの件
(大和田細則等検討委員会委員長・理事)

大和田細則等検討委員会委員長・理事により, 日本鉱物科学会賞選考方法について, 以下のガイドライン新設案が提案され, 提案理由の説明がなされ, 審議の後, 異議なく承認された。

<提案理由>

(1) 当選考委員会委員が推薦人となり候補者を推薦した時の選考方法を規定するためと(2) 各年度で公募記事内容が異なることを避けるために, 推薦者が提出する受賞候補者の応募書類の内容を規定する。

<日本鉱物科学会賞選考委員会に関するガイドライン>

- (選考委員が推薦人の場合)
1. 選考委員会委員が推薦人となる場合, その委員は選定の審査に参加しないこととする。
(公募記事の記載事項)
 2. 推薦の提出書類には, 次の5項目を記述すること。
 - 1) 候補者の氏名, 所属及び連絡先(住所, E-mailアドレス, 電話番号)
 - 2) 推薦者の氏名, 所属及び連絡先(住所, E-mailアドレス, 電話番号)
 - 3) 受賞対象となる業績題目とその具体的内容(日本語で1500~2000字程度, あるいは英語で500 words程度)
 - 4) 業績リスト(これまでの i) 査読付き原著論文と ii) 著書及び総説等を分けて記述し, そのうち iii) 主要業績10点を明示してください)
 - 5) 候補者の略歴
- このガイドラインは, 2019年9月21日から適用されるものとする

第7号議案 将来企画委員会答申について
(宮脇将来企画委員会委員長・副会長)

宮脇将来企画委員会委員長により, 継続審議となっていた以下の諮問についてそれぞれ答申がなされ, 審議の後, 承認された。

- (1) 一般普及講演会の費用負担について, 企画担当を明確化するために, 行事委員会が費用負担を検討すること。一般普及講演講師の旅費(実費)の支出については, 学会会計から支出すること。
- (2) 科研費説明会の開催の件について, 説明会を継続するよう要望があり, 開催の詳細は行事委員会で検討すること。

第8号議案(継続審議) 消費税にかかる購読会員価格の件
(提案: 河上会員幹事・理事, 説明: 栗林会計幹事)

河上理事により, 消費税分値上げによる購読会員価格の改定について提案があり, 栗林会計幹事から3通りの価格改定案の説明がなされた。審議の後, 決定には至らず, 榎並会長に一任することが承認された。

第9号議案 2021年年会開催地とLOC委員長候補者の件
(榎並会長)

榎並会長により、2021年年会開催候補地として広島大学、および運営委員長候補者として井上 徹会員の提案がなされ、審議の後、異議なく承認された

第10号議案 2019年度予算案について
(提案：榎並会長理事，説明：栗林会計幹事)

榎並会長により、2019年8月29日の第3回理事会にて承認された2019年度補正予算について、再修正予算案の提案がなされた。栗林会計幹事から、再修正予算案の提示をしながら以下の説明がなされ、審議の後、異議なく承認された。

<説明>(1)予算承認は理事会審議承認事項で、総会承認事項ではないため必要な場合は何度も理事会で審議が可能である。(2)今回の修正予算案は、顧問の公認会計士事務所から、今までの予算の立て方である会費収入積算率(会員数×90%)により会費未納額が不明瞭になっているとの指導があり、それを明確にするために、会費収入を会員数×100%に変更して積算した。

その他

- (1) 宮脇副会長により、「鉱物・宝石の科学事典」について、当事典編集委員会への印税が学会の収入となることが報告された。
- (2) 大藤広報委員長から学会HPの見直しについて提案があり、見直していくことについて承認された。

【10】閉会

以上の議事を終え、18時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

2021年(令和3年)3月8日

会 長 榎並正樹 印

副会長 宮脇律郎 印

監 事 平島崇男 印

(配布時押印省略)